

富山県聴覚障害者 センターだより

- 協会とセンターのホームページ
<http://www.tomichokyo.or.jp>
- 手話通訳・要約筆記・ライブラリ・センター利用の「手引き」を配布してい

全国聴覚障害者情報提供施設協議会 2019年度意思疎通支援担当者研修会に参加して

7/24～26の3日間、全国手話研修センター及び京都市聴覚言語障害センターで開催された標記研修会に参加しました。全国の情報提供施設から意思疎通支援にかかわる職員が47名参加し、講義を聴き、グループワーク等での意見交換を行いました。

講義のテーマは「電話リレーサービスについてー民間企業と情報提供施設の現状を知る」「情報提供施設のあるべき姿とは」「個別支援ー現状と、これから必要とされるサポート」。1日目は「民間企業における電話リレーサービス事業について」(株)プラスヴォイスの三浦社長からの講義を聞き、実際に実施している施設からの報告があった。海外では、24時間365日いつでも電話リレーが利用できる場所もあります。公共サービスとして行うためには、環境と人件費が必要になります。オペレーターの研修なども大切な課題であります。

3日目は宮澤典子氏に、言語権、コミュニケーション、通訳等についてわかりやすく話していただきました。ICTが進化し、遠隔通訳なども始まっています。対面通訳とは異なる特性を理解し、時代に合わせた支援を考えなくてはなりません。

グループワーク、また研修後に行われた連日の意見交換会(!?)で、仲間との絆をより強く感じることでできた3日間でした。(文責：清水)

障害者相談員活動強化研修会開かれる 相談員活動状況とパーキングパーミット制度を学ぶ

8月6日(火)～7日(水)魚津市の金太郎温泉にて開かれました。本会から3名参加しました。県障害福祉課の広域専門相談員より「相談員の役割と相談員活動状況について」を説明していただきました。相談件数はH30年度で102件と前年度より減少しているが、不利益扱いを受けた件数が増加しているとのことです。パーキングパーミット制度とは申請があった障害者に利用証を交付することで障害者等用駐車区画の適正利用を促進する制度のことです。富山県は11月より制度開始し、運用する予定です。

傘などセンターでの忘れ物 を取りに来てください。

日頃の富山県聴覚障害者センターをご利用頂きありがとうございます。センターのご利用の際、次の通り忘れ物がたくさんあります。

傘50本、水筒2本、ハンカチ4枚、帽子1個、ポーチ1個、パーカー1着

心当たりのある方はセンターまで。11月の初めに処分しますのでご注意願います。

センター利用の実績 7月21日～8月20日

- 来所者合計約508名
聴障者約227名、健聴者約281名
- コミュニケーション支援 93件
- ライブラリー貸出 6件 21本
- 相談対応11件 ●部屋貸出30件

★センター運営募金・募集

★郵便振替口座；

00790 - 0 - 93002

名称；富山県聴覚障害者
センターを支える会

よろしく願います。

